

「信仰をもつて」
祈る
ヤコブ 1：1－8

2022年01月02日名古屋緑福音
石戸充

今日の主題：

「いささかも疑わず、
信仰をもって願いなさい。」

ヤコブ 1：6

「信仰を持って」って、何だろう？

1 : 6 「いささかも疑わず、信仰をもって願いなさい。」

「離散している12部族」への挨拶

(ステパノ殉教⇒全体迫害、フルボッコ)

人生で追い散らされる時の反応、(逃走と闘争)

「信仰をもって」の適応

・そのことに不平を言い続ける (過去思考)

・そこから神とともに歩み出す (未来思考)

前提：(痛み、失望、孤独を主と分かち合う詩篇の率直な祈り)

4:6 どんなことでも、思い煩うのはやめなさい。

何事につけ、感謝を込めて 祈りと願い をささげ、

求めているものを神に打ち明けなさい。

4:7 そうすれば、あらゆる**人知を超える神の平和**が、

あなたがたの心と考えとをキリスト・イエスによって守るでしょう。

(ピリピ4 : 6)

ポイント ⇒ 「神のご支配」を信じること。心配に支配させないこと

信仰をもって祈る②

何事でも、確信をもって 双方向（神の御心、私の願い）

何事でも神の御心に適うことをわたしたちが願うなら、神は聞き入れてくださる。これが神に対するわたしたちの確信です。
（1ヨハネ5：14）

例) 祈りのダムに水を蓄える （祈りと断食の一週間）

（イザヤ55）「雨や雪が天から降ってもとに戻らず、
必ず地を潤し、それに物を生えさせ、芽を出させ、種蒔く者には種を与え、
食べる者にはパンを与える。」 ←目黒目白

（イザヤ55:11）「そのように、わたしの口から出るわたしの言葉も／むなしくは、わたしのもとに戻らない。それはわたしの望むことを成し遂げ／わたしが与えた使命を必ず果たす。」

信仰をもって祈る③

いついかなる場合にも わたしを強めてくださる方

「4:12 貧しく暮らすすべも、豊かに暮らすすべも知っています。満腹していても、空腹であっても、物が有り余っていても不足していても、いついかなる場合にも対処する秘訣を授かっています。」

「4:13 わたしを強めてくださる方のお陰で、わたしにはすべてが可能です。」（ピリピ4：13）

（ルカ1:37）（御使い）「神にできないことは何一つない。」

1:38 マリアは言った。「わたしは主のはしためです。

お言葉どおり、この身に成りますように。」

← 主に従う、「敬虔と信従の道」を、歩む決断
（パイエティ オビディエンス）

今年も、 主の民として歩みましょう

「大丈夫。だって神様だもの！」（働き人の土台）

主の平和、平安の確信はありますか

心配に支配されていませんか

主を信じ、従う決断に 歩ませて頂きましょう